

2018年9月13日
株式会社 リクルートマーケティングパートナーズ

ブライダル総研

出産・育児調査2018

妊娠・出産・育児の各期において、女性の満足度に影響する意識や行動は異なる。多くは子どもの人数によっても違い、各期で周囲がとるべき行動は変わっていく

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都品川区 代表取締役社長 山口 文洋）が運営するリクルートブライダル総研では、出産・育児の実態について詳細を把握するために、「出産・育児調査2018」を実施しました。ここに、調査結果の要旨をご報告いたします。

【女性の各期満足度への影響まとめ】

各期		妊娠期		出産期	育児期	
満足度に影響する要素		配偶者の関与内容	不安の種類	関与者の種類	親・親族のサポート内容	配偶者の家事・育児参加
子どもの人数	1人目	✓ 妊娠そのものに対する関与	✓ 配偶者の協力	✓ 配偶者 ✓ 親	✓ 子どもの預かり	✓ 家事・育児 どちらも重要
	2人目以上	✓ 日常的なコミュニケーション頻度	✓ 配偶者の協力 ✓ 自分の時間の確保	✓ 配偶者	✓ 家事の手伝い	✓ 家事・育児 どちらも重要

【詳細】

<結婚生活満足度と妊娠・出産・育児期の満足度>・・・P3

- 結婚生活の満足度は男女で差はない一方、各期の満足度は男性よりも女性の変化が大きい。特に女性の育児期の満足度が低下する。

<妊娠期における子どもの人数別満足不満ギャップ>・・・P4・5

- 妊娠期において、女性の満足度に影響する「配偶者の関与の内容」は、子どもの人数によって異なる。「子どもが1人目」の人は、配偶者の「妊娠そのものへの関与」、「子どもが2人目以上」の人は、妊娠に関することだけではなく「日常的なコミュニケーション」を持つことが重要。
- 妊娠期において、女性の満足度に影響する「感じた不安の種類」は、子どもの人数によって異なる。「子どもが1人目」の人は、「配偶者の協力」が、「子どもが2人目以上」の人は、「配偶者の協力」に加え、出産後に「自分の時間」が持てるかが、満足・不満を分けるポイント。

<出産期における子どもの人数別満足不満ギャップ>・・・P6

- 出産期において、女性の満足度に影響する「関与者の種類」は、子どもの人数によって異なる。「子どもが1人目」の人は、「配偶者の関与」だけでなく、里帰り出産や立ち会いによる「親の関与」が関係し、「子どもが2人目以上」の人は、「親の関与」よりも「配偶者の関与」の影響が強い。

<育児期における子どもの人数別満足不満ギャップ>・・・P7・8

- 育児期において、女性の満足度に影響する「親・親族のサポート内容」は、子どもの人数によって異なる。「子どもが1人目」の人は「育児への協力」、「子どもが2人目以上」の人は「家事への協力」の有無による影響度が高い。
- 育児期において、「配偶者の家事・育児への参加」については、子どもの人数に関わらず、女性の育児満足度に影響する。

- ◆ 出版・印刷物ヘデータを転載する際には、“出産・育児調査2018（リクルートブライダル総研調べ）”と明記いただきますようお願い申し上げます。
- ◆ 「出産・育児調査2018」の詳細は、下記広報担当までご連絡ください。
リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにない、出会い。」を届けることを目指してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】
https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

【調査概要】

- 【調査対象】 全国の20～49歳の既婚男女（本人・配偶者ともに初婚）で、3歳以下の同居末子がいる方
 【調査方法】 インターネット調査（株式会社インテージの調査モニターを使用）
 【調査期間】 2018年3月26日～3月30日
 【有効サンプル数】 4,000人

内訳（性別×居住地域）

	TOTAL	北海道	東北	南関東	北関東・甲信	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
合計	4,000	304	339	543	386	320	536	542	347	251	432
男性	2,000	103	138	341	184	119	334	340	146	65	230
女性	2,000	201	201	202	202	201	202	202	201	186	202

- 【集計方法】 H27年度国勢調査（総務省）と人口動態調査（厚生労働省）を掛け合わせて作成した「回答者の性別（2区分）×年代（3区分）×末子年齢（4区分）×居住地域（10区分）」の母集団に合わせて調査結果をウェイトバック集計を実施

- ・性別（2区分） : 男性、女性
- ・年代（3区分） : 20～29歳、30～39歳、40～49歳
- ・末子年齢（4区分） : 0歳、1歳、2歳、3歳
- ・居住地域（10区分） : 北海道、東北、南関東、北関東・甲信、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州

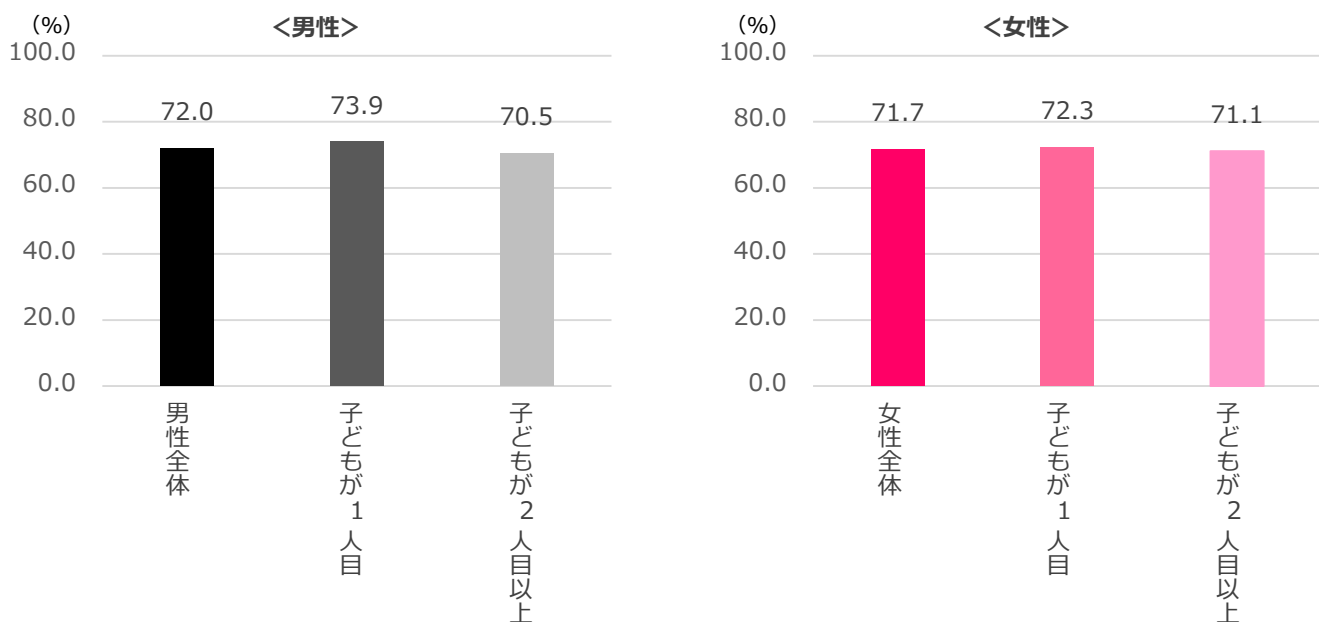
結婚生活満足状況と妊娠・出産・育児期の満足状況

結婚生活の満足度は男女で差はない一方、各期の満足度は男性よりも女性の変化が大きい。特に女性の育児期の満足度が低下する。

- 結婚生活満足度は、男女ともに約7割。
- 各期の満足度において、男性は大きな変化はない一方、女性は男性に比べ、出産期から育児期にかけて、満足度が低下する。

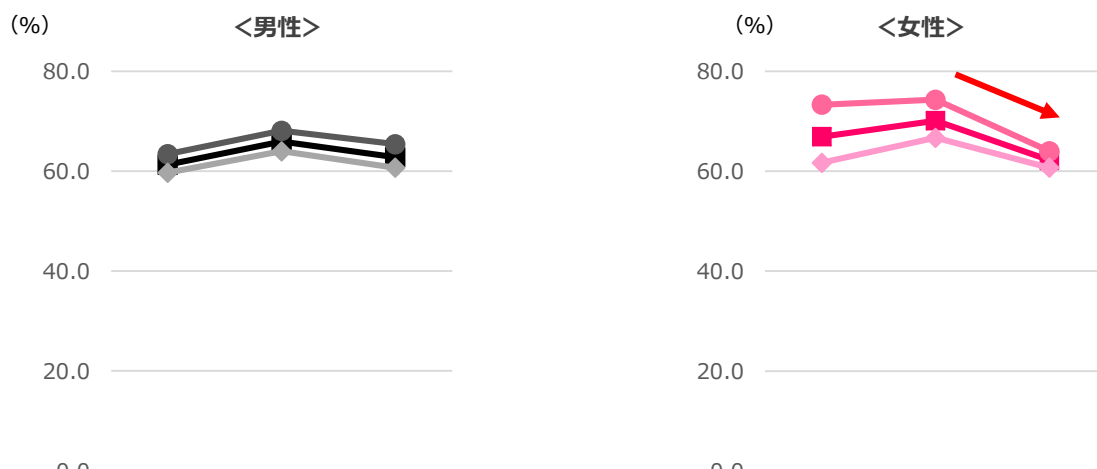
■ 結婚生活満足度 <0~3歳の末子がいる20~40代の男女／単一回答／7段階評価のうち、「非常に満足」「満足」「やや満足」計>

※結婚生活満足度：結婚してから現在までの満足度



■ 各期（妊娠期・出産期・育児期）の満足度 <0~3歳の末子がいる20~40代の男女／単一回答／7段階評価のうち、「非常に満足」「満足」「やや満足」計>

※育児期：出産後から現在まで（末子の年齢によって異なる）



	妊娠期	出産期	育児期
■ 男性全体	61.3	65.9	62.8
● 子どもが1人目	63.4	68.1	65.4
◆ 子どもが2人目以上	59.7	64.0	60.7

	妊娠期	出産期	育児期
■ 女性全体	66.9	70.1	62.2
● 子どもが1人目	73.3	74.3	64.0
◆ 子どもが2人目以上	61.7	66.7	60.7

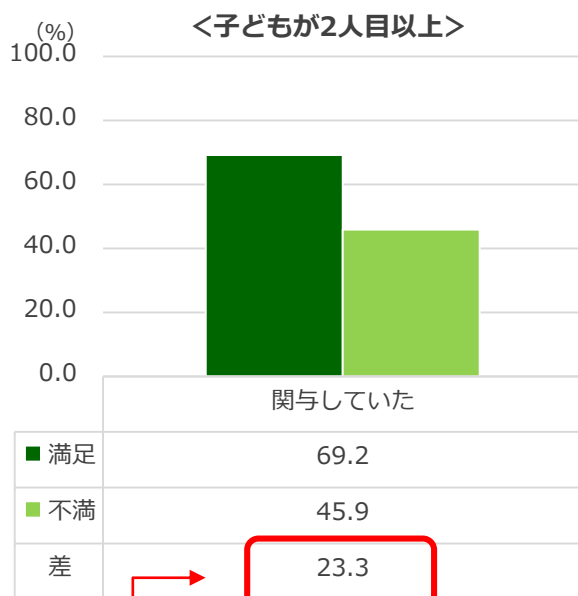
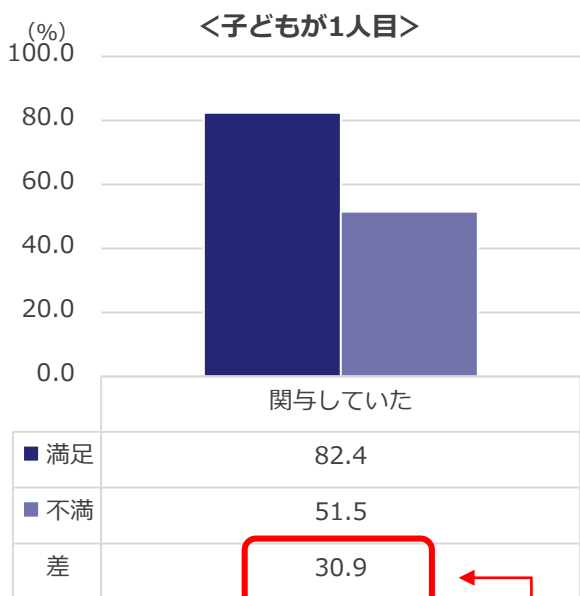
<妊娠期>子どもの人数別満足不満ギャップ(配偶者関与/コミュニケーション)

妊娠期において、女性の満足度に影響する「配偶者の関与の内容」は、子どもの人数によって異なる。「子どもが1人目」の人は、配偶者の「妊娠そのものへの関与」、「子どもが2人目以上」の人は、妊娠に関するだけでなく「日常的なコミュニケーション」を持つことが重要。

- 末子の妊娠時に対する配偶者の関与状況において、「子どもが1人目」の人は、「子どもが2人目以上」の人よりも満足・不満の差が大きい。
- 末子妊娠中の配偶者との日常的なコミュニケーション頻度において、「子どもが2人目以上」の人は、「子どもが1人目」の人よりも満足・不満の差が大きい。

■ 末子の妊娠時に対する配偶者の関与状況<0~3歳の末子がいる20~40代の女性/単一回答/7段階評価のうち、「非常に関与していた」「関与していた」「やや関与していた」計/女性の妊娠期満足状況別>

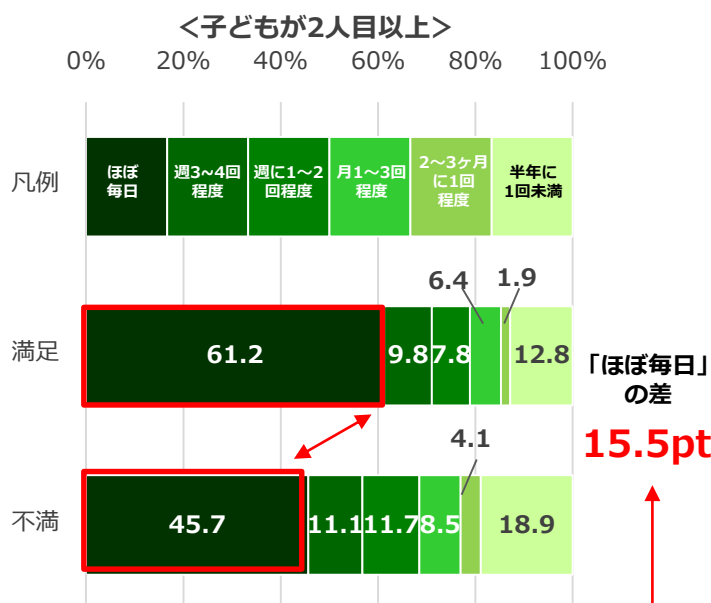
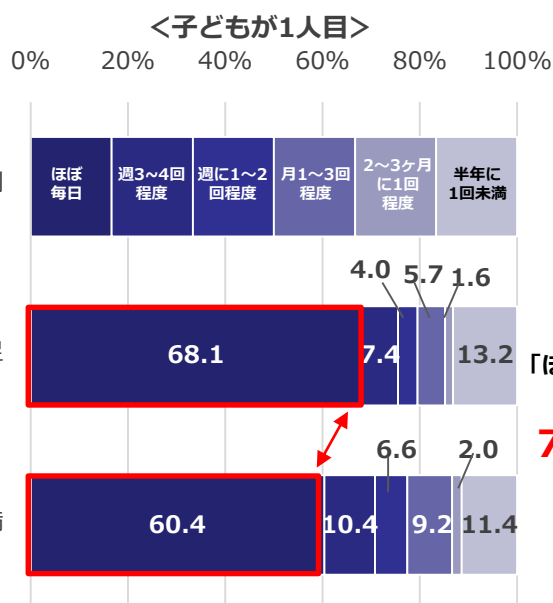
※女性の妊娠期満足度評価のうち、「どちらともいえない」は不満を含む



子どもが1人目 > 子どもが2人目以上

■ 末子妊娠中の配偶者との日常のコミュニケーション頻度<0~3歳の末子がいる20~40代の女性/単一回答/女性の妊娠期満足状況別>

※女性の妊娠期満足度評価のうち、「どちらともいえない」は不満を含む



子どもが1人目 < 子どもが2人目以上

<妊娠期>子どもの人数別満足不満ギャップ(妊娠・出産時の不安)

妊娠期において、女性の満足度に影響する「感じた不安の種類」は、子どもの人数によって異なる。「子どもが1人目」の人は、「配偶者の協力」が、「子どもが2人目以上」の人は、「配偶者の協力」に加え、出産後に「自分の時間」が持てるかが、満足・不満を分けるポイント。

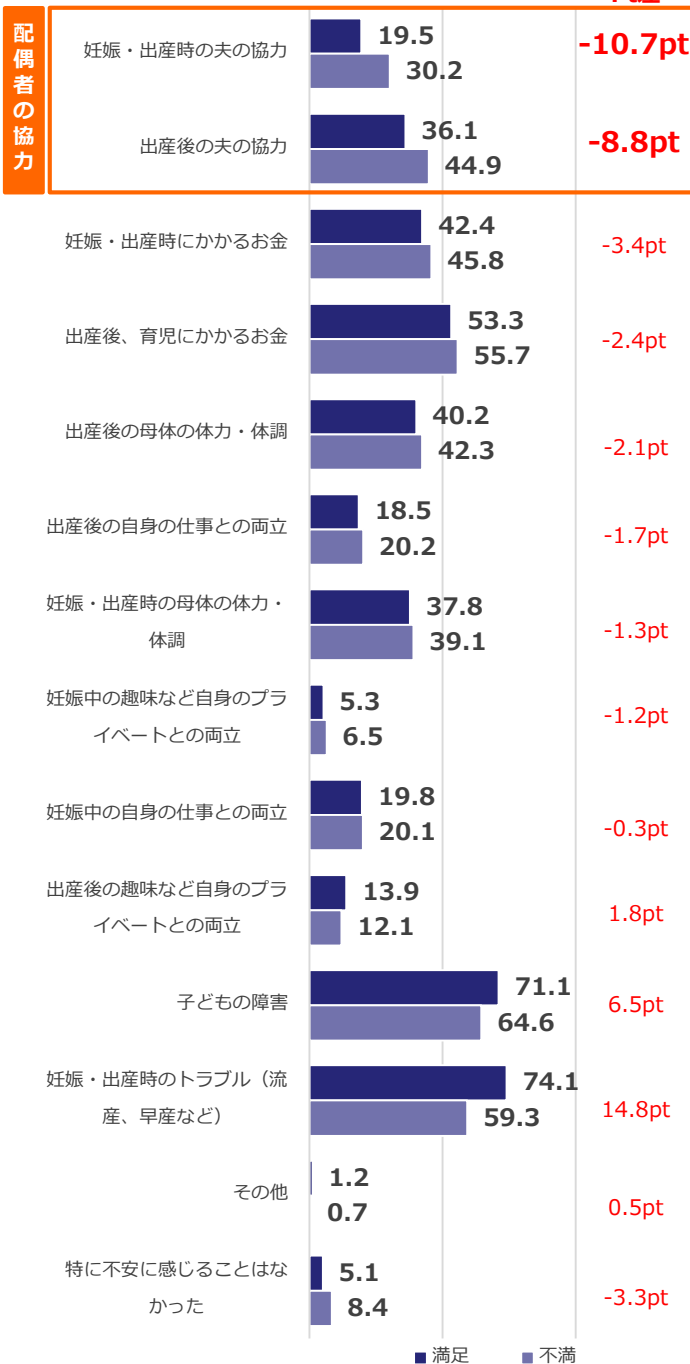
▶ 「末子の妊娠・出産時に不安に感じたこと」において、「子どもが1人目」の場合、「配偶者の協力」に関する項目が、「子どもが2人目以上」の場合、「配偶者の協力」「自分の時間」に関する項目が満足者を不満者が上回る。

■ 末子の妊娠・出産時に不安に感じたこと<0~3歳の末子がいる20~40代の女性/複数回答/女性の妊娠期満足状況別>

※女性の妊娠期満足度評価のうち、「どちらともいえない」は不満に含む

<子どもが1人目> (%)

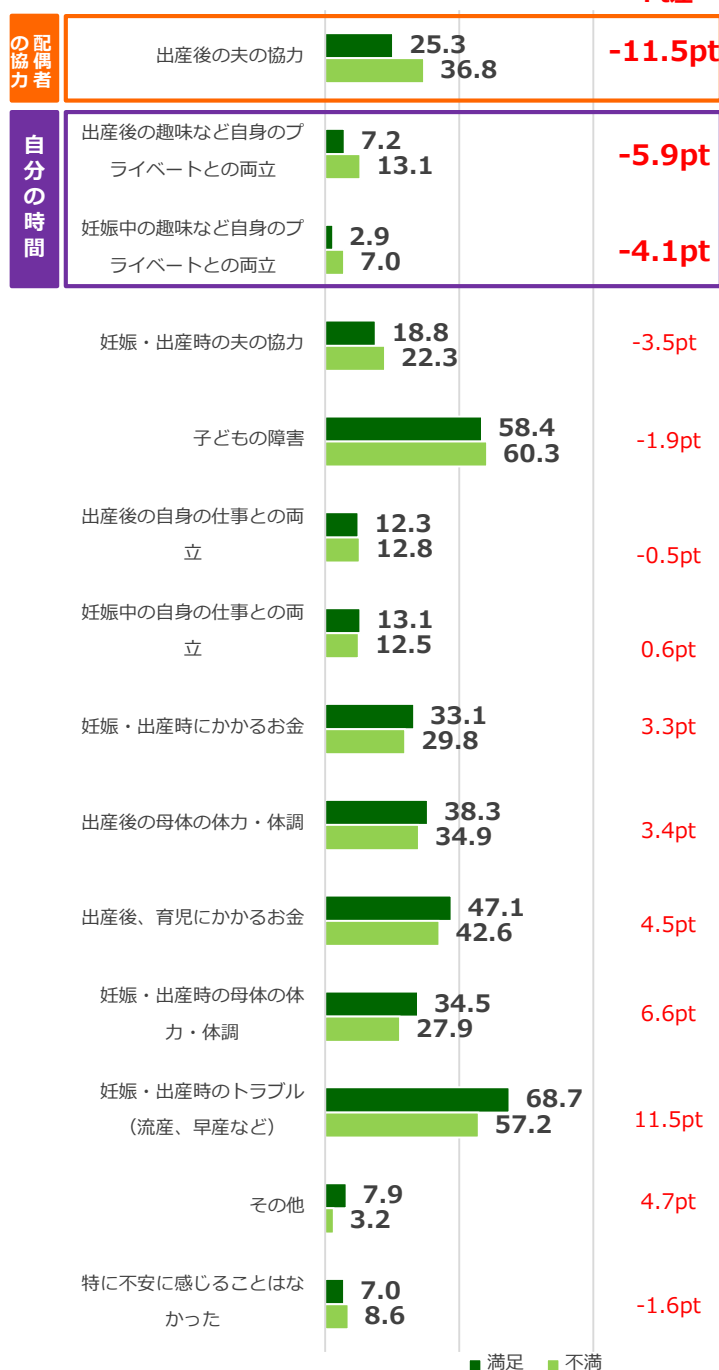
0.0 50.0 100.0 Pt差



※満足 - 不満の差の昇順

<子どもが2人目以上> (%)

0.0 50.0 100.0 Pt差



※満足 - 不満の差の昇順

<出産期>子どもの人数別満足不満ギャップ(里帰り出産/立ち会い出産)

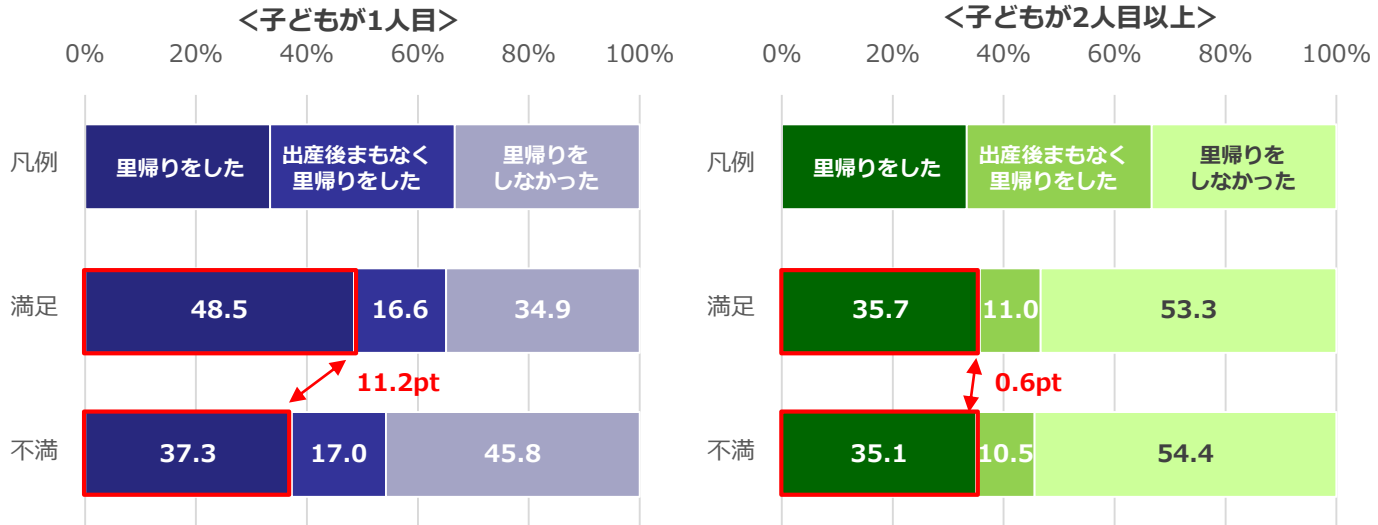
出産期において、女性の満足度に影響する「関与者の種類」は、子どもの人数によって異なる。

「子どもが1人目」の人は、「配偶者の関与」だけでなく、里帰り出産や立ち会いによる「親の関与」が関係し、「子どもが2人目以上」の人は、「親の関与」よりも「配偶者の関与」の影響が強い。

- 末子出産時の里帰り状況において、「子どもが1人目」の場合、満足者が里帰りをしている割合が高く、その差は「子どもが2人目以上」の場合よりも大きい。
- 末子出産時の立ち会い状況において、「配偶者」が立ち会った割合の満足・不満の差は、「子どもが2人目以上」の人が大きく、一方で、「母親」が立ち会った割合の満足・不満の差は「子どもが1人目」の人の方が大きい。

■ 末子出産時の里帰り状況<0~3歳の末子がいる20~40代の女性/単一回答/女性の出産期満足状況別>

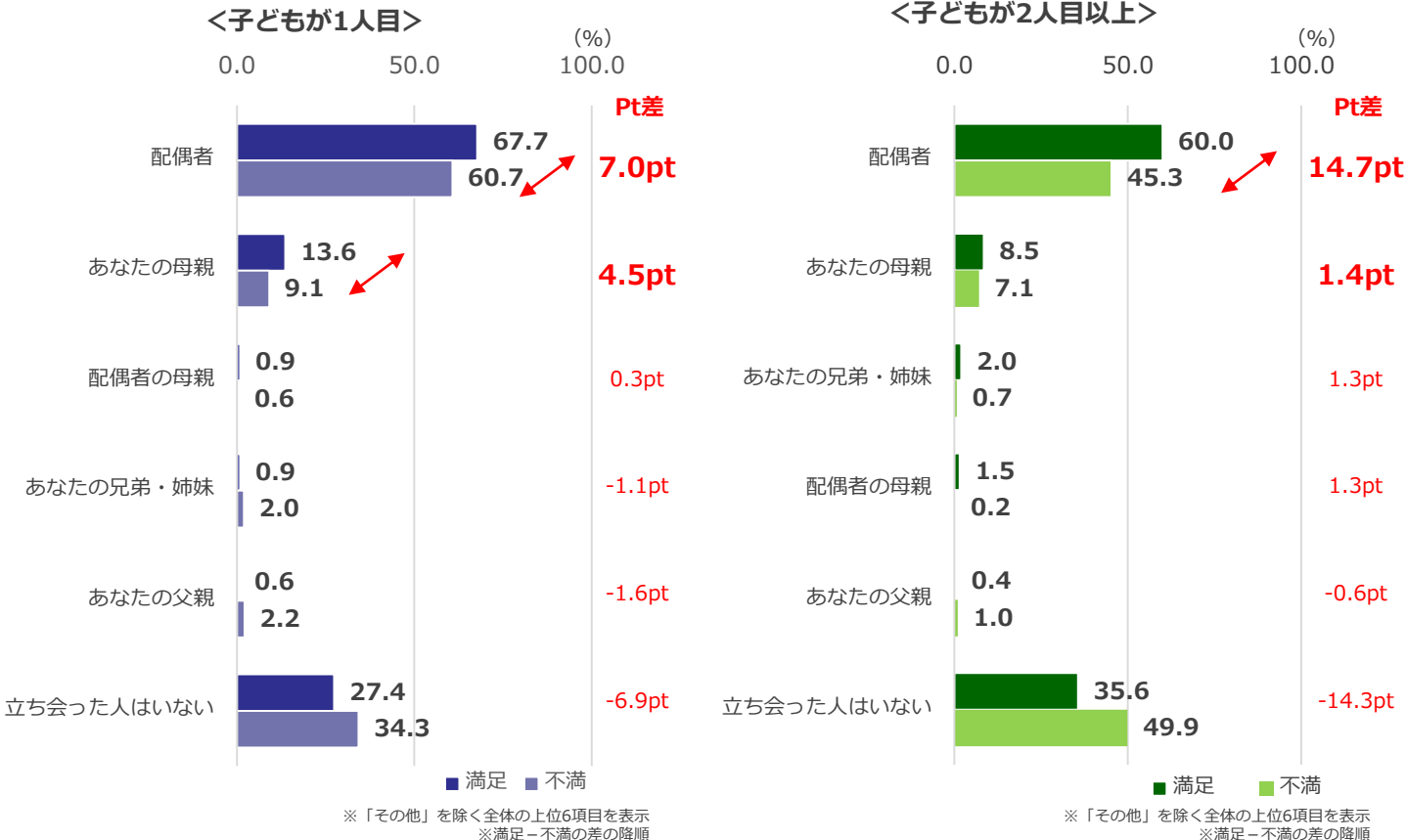
※女性の出産期満足度評価のうち、「どちらともいえない」は不満に含む



■ 末子出産時の立ち会い状況<0~3歳の末子がいる20~40代の女性/単一回答/女性の出産期満足状況別>

※女性の出産期満足度評価のうち、「どちらともいえない」は不満に含む

※出産時、分娩している部屋の中で立ち会った人



<育児期>子どもの人数別満足不満ギャップ(親・親族のサポート内容)

育児期において、女性の満足度に影響する「親・親族のサポート内容」は、子どもの人数によって異なる。「子どもが1人目」の人は「育児への協力」、「子どもが2人目以上」の人は「家事への協力」の有無による影響度が高い。

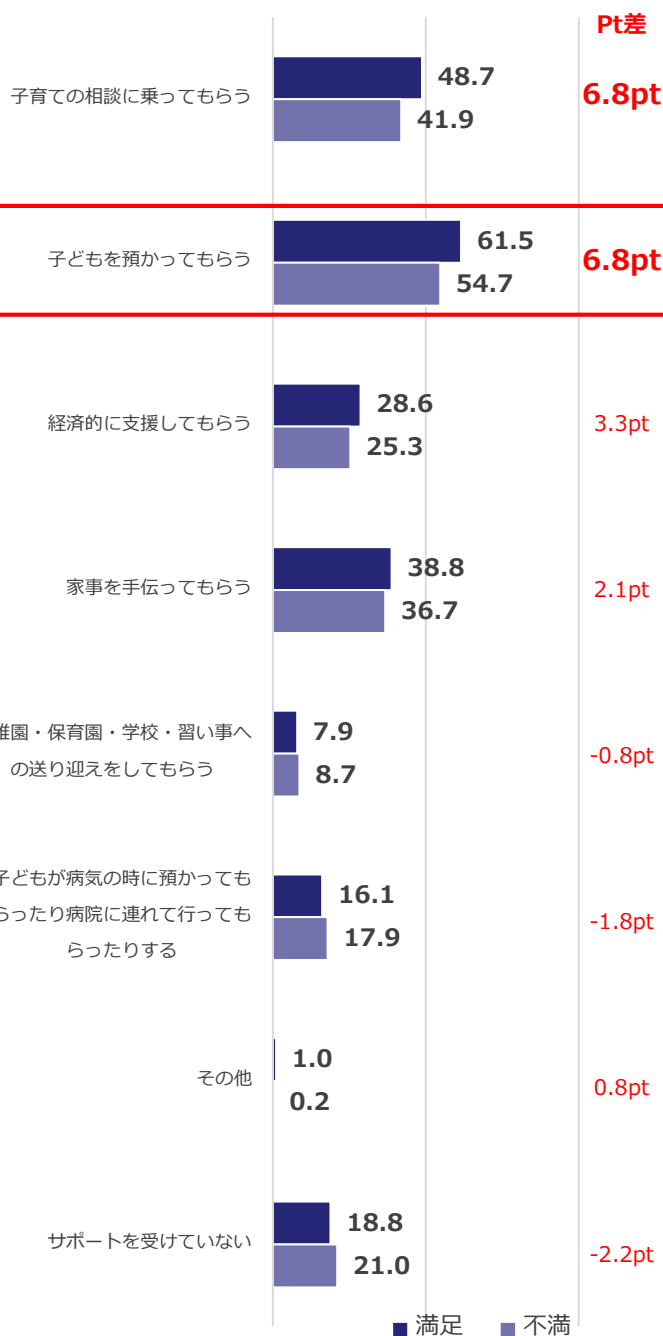
➤ 末子の育児に対する親・親族のサポート内容において、「子どもが1人目」の場合、満足者は不満者より「子育ての相談に乗ってもらう」「子どもを預かってもらう」の項目が高い。「子どもが2人目以上」の場合、満足者は不満者より「子育ての相談に乗ってもらう」「家事を手伝ってもらう」の項目が高い。

■ 末子の育児に対する親・親族のサポート内容 <0~3歳の末子がいる20~40代の女性/単一回答/女性の育児期満足状況別>

※女性の育児期満足度評価のうち、「どちらともいえない」は不満に含む

<子どもが1人目>

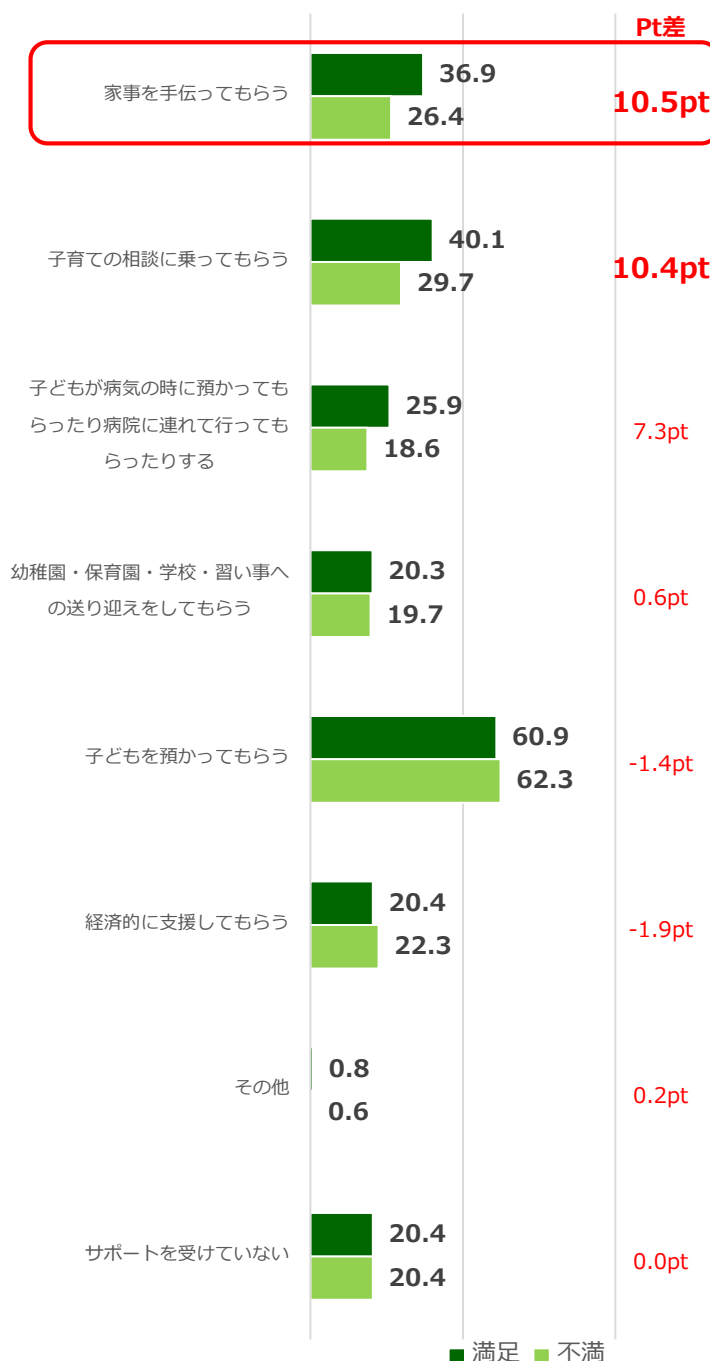
(%)
0.0 50.0 100.0



※満足 - 不満の差の降順

<子どもが2人目以上>

(%)
0.0 50.0 100.0



※満足 - 不満の差の降順

<育児期>子どもの人数別満足不満ギャップ(家事・育児分担比率)

育児期において、「配偶者の家事・育児への参加」については、子どもの人数に関わらず、女性の育児満足度に影響する。

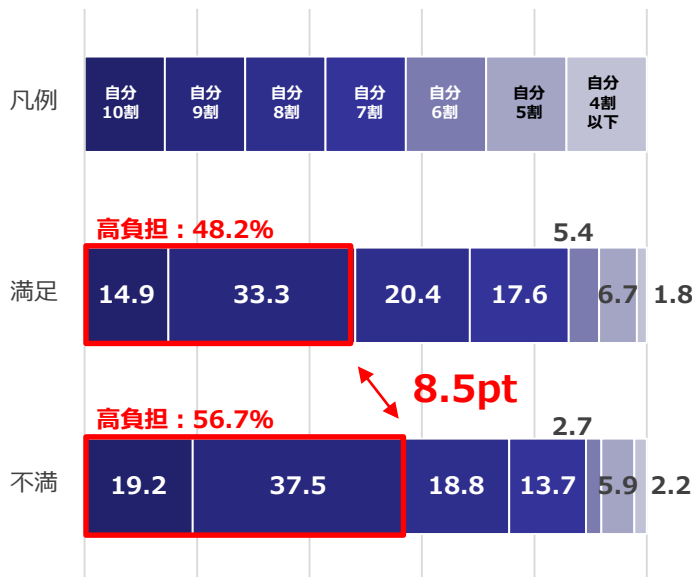
➤ 女性の育児分担比率および育児分担比率において、「自分が9割以上」の高負担である割合は、満足者よりも不満者の方が高い。

■ 末子の育児中の家事分担<0~3歳の末子がいる20~40代の女性/単一回答/女性の育児期満足状況別>

※女性の育児期満足度評価のうち、「どちらともいえない」は不満を含む

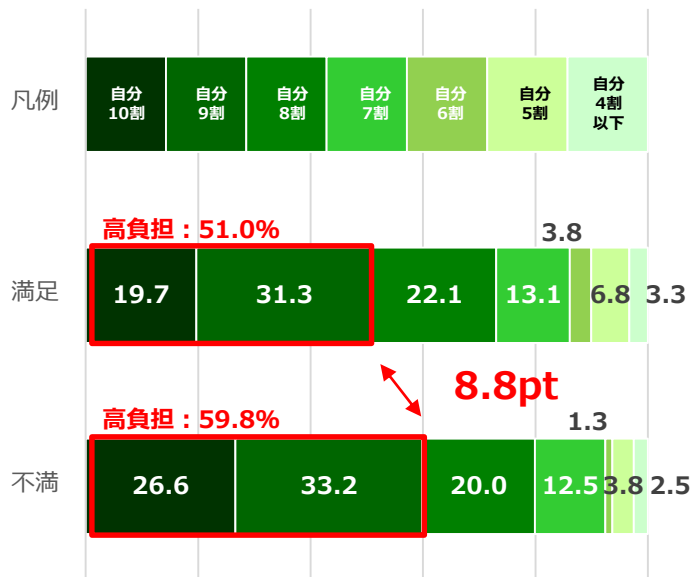
<子どもが1人目>

0% 20% 40% 60% 80% 100%



<子どもが2人目以上>

0% 20% 40% 60% 80% 100%

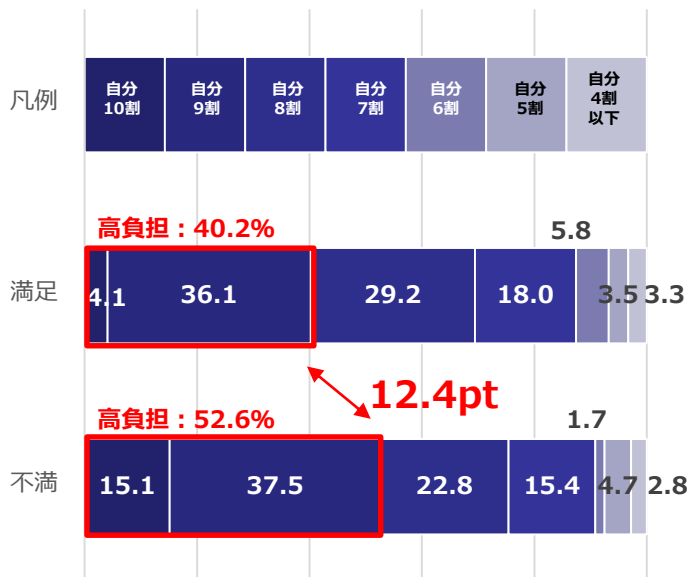


■ 末子の育児分担<0~3歳の末子がいる20~40代の女性/単一回答/女性の育児期満足状況別>

※女性の育児期満足度評価のうち、「どちらともいえない」は不満を含む

<子どもが1人目>

0% 20% 40% 60% 80% 100%



<子どもが2人目以上>

0% 20% 40% 60% 80% 100%

